

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 3月号②

令和6年 3月 18日

校長 大越 敏孝



6年生 ご卒業おめでとうございます!! ～6年生との日々を振り返りながら～



桜のつぼみも膨らみ始め、暖かい日差しに春がすぐそこまで来ていると感じます。明日は、いよいよ6年生が汐見台小学校を巣立っていく卒業式です。この1年間、さまざまな活動の中で汐見台小のリーダーとして活躍してくれた6年生。1～5年生の子どもたちは、2月28日（水）の「児童総会」や3月14日（木）の6年生「お見送りの会」をとおして、これまでの6年生とのかかわりを振り返り、お別れをしました。



『児童総会』を計画・実施してくれた運営委員会

久しぶりに対面で行うことができた「児童総会」では、5・6年生の児童が担当している委員会活動の役割や具体的な活動、全校児童にお願いしたいことなど、1年間の振り返りながら発表しました。委員会によってはタブレットでスライドをスクリーンに映したり、クイズを出して聞き手に参



一人ひとりが委員会へのコメントを書き、その代表が発表した『児童総会』

加してもらったりしながら、わかりやすく説明していました。最後に、それぞれの委員会に感謝のメッセージを代表の子どもたちに発表しました。6年生がリーダーシップをとった活動がたくさんありました。その取り組みや頑張りは、在校生にしっかりと受け継がれました。

また、1年間の縦割りグループに分かれてのお別れの会「スペシャルなかよしのわ」で6年生との最後のふれあい活動をした後、「6年生お見送りの会」を卒業式の会場を使って行いました。各学年からの6年生への思い出の言葉、6年生からのメッセージと合唱。6年生をじっと見つめながら聴いている1～5年生のまなざしが印象的でした。



卒業式会場を使って6年生とお別れをした『6年生お見送りの会』

6年生からのバトンは、しっかりと1～5年生の在校生に渡りました。明日は、汐見台小学校で学び成長した姿を卒業式で保護者や地域の皆様に見せてほしいと思います。6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

『学校評価アンケート』にご協力ありがとうございました

昨年12月16日（金）から1月5日（金）にかけて『学校評価アンケート』実施いたしました。お忙しい中、多くの保護者の皆様にご回答をいただき、ありがとうございました。今回も家庭数ではなく、在籍されているお子様一人ひとりについてご回答いただきました。兄弟姉妹がいらっしゃるご家庭では複数の回答となりお手数をおかけいたしました。



詳細については次頁以降でお知らせいたしますが、各項目とも概ね高い評価をいただいたことを嬉しく思います。また、一方で今後の課題となる事項も見受けられました。皆様からいただいたアンケートの結果については、教職員だけでなく学校運営協議会の委員の皆様とも共有させていただき、今後のよりよい学校づくりのために生かしてまいります。引き続き、汐見台小学校の教育活動への保護者の皆様のご支援とご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

なお、今年度につきましては、次頁からの書面をもちまして学校報告会に代えさせていただきます。ご承知おきください。



アンケートの結果につきましては、2～4ページをご覧ください

令和5年度 学校評価アンケートの結果について

保護者のアンケートから

○ほとんどの設問において、9割前後の肯定的な回答をいただきました。

『夕見台小学校の教育について』

○【設問1～9】において、すべての項目で9割を超える肯定的な評価をいただきました。

特に【設問6】「学校日より、学年日より、学級日より等を通して家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている」

【設問9】「小規模校の良さを生かした教育を行っている」については、肯定的評価の回答の中でも「よくあてはまる」と高く評価していただきました。また、前年度に比べ「よくあてはまる」割合が高くなったものとしては、【設問3】「学校は、雰囲気がよく子ども達は生き生きと活動している」があげられ、5ポイント以上高くなりました。

今年度は、コロナ禍を乗り越えて、創立記念行事やリレー大会など児童を主体とした活動を行ってきました。子どもたちがいきいきと活動できる明るく楽しい学校づくりに引き続き努めてまいります。

『職員について』

○【設問10～13】において、すべての項目で9割を超える肯定的な評価をいただきました。

特に【設問12】「子どもの発達に応じて、個に応じた指導やチーム対応等の支援を行っている。」において、「よくあてはまる」と高く評価していただいた割合が前年を10ポイント以上上回りました。引き続き、子どもの困り感を把握し、担任だけでなく教職員のチームで個に応じた支援を検討し対応することに努めてまいります。また、心の教育相談員による「ほかほかルーム」での子どもたちの悩み相談、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる保護者の皆様への相談の充実にも努めるとともに、特別支援学級「仲よし級」との相互交流など、子どもを中心に保護者、教職員、相談機関等の連携を密にし支援教育をさらにすすめてまいります。

『子どもの生活と学びの習慣化・保護者の振り返りについて』

○【設問19】「お子さんは、進んで外遊びや運動をしている」は、昨年度に比べ5ポイント以上高くなっています。

コロナが収まりを見せる中、子どもたちが放課後においても活動的になっていることがうかがえます。その一方で、

【設問15】「家庭での読書」が減っていたり、【設問18】「テレビ・ゲーム・パソコン等の利用時間」が守れない子や使い方のルールが決められていないご家庭も多いようです。

学校での読書活動では、保護者の方々に多数ご協力いただいている「朝の開き読み」や読書活動支援員によるブックトークや給食の時間の「お昼のおはなしの時間」など、児童のアンケート結果からも読書好きの児童が増えていることがうかがえます。

家庭では、ゲームやスマホの利用時間や使い方の約束が昨年度より守られていない傾向がみられます。12歳未満で使用が制限されているSNSでのトラブルなどもあるようです。情報モラル教室については、学年ごとに内容を設定し今年度も行っているところです。今後も取り組みに力を入れるとともに指導を続けてまいります。保護者の皆様にも一緒に考えていただきながら、連携して取り組んでいきたい課題と考えています。

児童のアンケートから

『学校・先生について』

○【設問1】「学校は、楽しいですか」に、学年によって違いはあるものの9割の児童が肯定的な回答をしています。

保護者のアンケートでも【設問4】「わが子は、楽しそうに学校へ通っている」に9割以上の肯定的な回答をいただいております。児童と保護者の傾向は一致しているものの、否定的な回答をしている児童が1割いることを教職員が認識しなければならないと思っています。引き続き、児童がいきいきと活動できるよりよい学級づくり、授業づくりに努めてまいります。

○【設問3】「授業中に自分の考えをみんなの前で言うことができる」と肯定的な回答をした児童が昨年度に比較して20ポイント以上増え、9割を超えました。本校では、「自分の考えをもち表現できる子どもの育成」を目指して研修や研究を進めています。児童も実感を持ってきていることを嬉しく思うとともに、引き続き授業改善に努めて参ります。

○【設問7】「困ったことがあったときに、担任の先生に相談しますか」では、否定的な回答の児童が昨年と同じく3割いましたが、【設問9】「困ったときに担任だけでなく他の先生にも相談することができますか」では、肯定的な回答が5割を超え、担任の先生に限らず他の先生に相談できると回答した児童の割合が5ポイント程度増えました。担任や他の教職員も含め、引き続き、児童との関係づくりをまず大切にしていきたいと考えています。その上で、困ったことがあったときには一人で抱え込まず、誰にでも相談してよいことを改めて児童に知らせ、先生だけでなく「心の教育相談員」や「スクールカウンセラー」にも相談できることを伝えるなど適切な対応を考えていきたいと思っております。